

衆議院議員 自民党東京23区 (町田市・多摩市)

真摯に、ひたむきに。



小倉まさのぶ通信

2019年 Vol.1



町田市・多摩市にとっての地方創生 ～団地再生～

昨年10月までの1年2カ月間、総務省の大臣政務官を務めてまいりました。34都道府県、66区市町村を訪問し、地方行政の現場をみてきました。その縁もあり、いまは総務委員会の理事とともに、自民党の地方創生実行統合本部の事務局長代理を拝命しております。(他の役職は4面をご覧ください)

地方創生の大きなテーマのひとつは東京一極集中是正ですが、より正確に言えば、これは東京“23区”一極集中是正を指しています。町田市や多摩市を含む多摩地域は郊外のベッドタウンとして発展を遂げ、戸建てや集合住宅の団地が数多く建設されてきました。しかしながら、数十年経過した住宅団地は建物が老朽化すると同時に、住民の高齢化が進んでいます。他方、23区内は高層マンションが立ち並び、若い世帯が集まるようになっていきます。

こうしてみると、**町田市や多摩市も東京“23区”一極集中により課題を抱える“地方”であり、インフラの老朽化への対応や高齢の方にも安心して住んでもらえる環境整備を行う一方で、若い世代にも引き続き選択してもらえる街にしてい**くための“地方創生”を進める必要を感じます。

こうした問題意識もあり、一昨年、小倉まさのぶは若手国会議員とともに住宅団地の再生に関する提言を国土交通大臣に提出し、昨年、政府は初めて住宅団地に特化した予算を策定しました。採択された3つの事業には町田市の藤の台団地のものも含まれています。また、本年2月から、多摩市の諏訪・永山団地では自動走行運転に関する国の実証調査を実施し、高齢者の買物支援等、新しい技術を活用した魅力的な団地再生に一早く取り組みます。

更に、UR(都市再生機構)も住民の暮らしを守りつつ、様々な世代を呼び込む積極的な投資を行うようになりました(詳しくは4面をご参照ください)。

今年の通常国会では、法改正により、住居専用地域が広がる住宅団地に、高齢者施設や子育て施設、更には長時間の通勤を不要とするコワーキングスペースなどを、時代に合わせて柔軟に設置できる規制緩和も検討しています。

こうした政策をひとつひとつ形に変えていくことにより、私達の次の世代まで安心して暮らせる町田市・多摩市にしていきたいと思います。



一期目の2013年4月に早速、鶴保国交副大臣(当時)に多摩ニュータウンの現状を視察してもらいました。初当選以来、団地の再生は小倉まさのぶのライフワークのひとつです。



鶴川団地および団地商店街の大幅改修に関しても、商店会や自治会の皆様と意見交換を重ね、地域の声を反映した計画に修正することができました。

議員活動 2018年10月～12月

IPU (列国議会同盟) の若手議員会議



アゼルバイジャンのバクーで開催された、IPU (列国議会同盟) の若手議員会議に参加してきました。43カ国より130名の国会議員が参加し、地球温暖化、ソサエティ 5.0時代の教育への投資や持続可能な社会保障制度について、我々青年世代がどのようにリードしていけるか各国の若手議員と徹底的に議論しました。若者政策担当省、若者政策担当委員会、若者の議員参加を促すクォータ制の導入など、諸外国のほうが若者政策に対する意識も高く、また国政のなかでの体制整備も進んでいるように感じました。

同地には、イスラム教、キリスト教、ゾロアスター教等の中央アジアならではの多様な文化や習俗の集積があり、一方で首都バクーはオイルマネーを投じた近未来の建物が並ぶ街で



もありました。日本人は珍しいらしく、街を歩いていると多くの方に声をかけてもらいました。

同国には「殉教者の小道」という神聖な場所があります。独立前に旧ソ連軍の侵攻の際に犠牲になった一般市民が祀られている場所です。この事件をきっかけにアゼルバイジャンの人々は独立を決意するようになりました。事件のあった1月20日は今でも多くの国民がこの場所を訪れています。

小倉まさのぶも献花をさせていただきましたが、そのことを同国が感謝してくれてわざわざ国営ニュースで報じてくれました。

二国間の外交は相手国の歴史を理解しその国の人々の気持ちに寄り添うことから始まるものと改めて感じます。

指定自動車教習所の経営安定化



小倉まさのぶが事務局長を務める指定自動車教習所を応援する議員連盟で、山本順三大臣 (国家公安委員長) に教習所を取り巻く環境をご説明するとともに、要望書を提出しました。

EdTechの推進



EdTech (教育とテクノロジーの融合) 議連として塩谷立会長とともに財務省に予算要望を行いました。EdTechの推進は、ソサエティ 5.0時代に合った人材育成に資するとともに、現場の教員の負担を減らし生徒ひとりひとりをケアする時間を増やすことにもつながります。

消費税率引き上げ対策



自民党経済成長戦略本部（岸田文雄本部長、林芳正座長）の提言（「消費税率引き上げに伴う対策について」）を安倍総理に提出しました。消費税が上がっても、個人消費や中小企業の経営に極力影響を与えない、更には未来につながる構造改革に資する経済対策を実施するよう要請しました。

消費税対策

- プレミアム商品券
- キャッシュレス決済のポイント還元
- 自治体プレミアムポイント
- 自動車税の軽減税率
- 住宅ローン減税の拡充
- 住宅エコポイント など

地元活動 2018年10月～12月

紙面の都合によりごく一部しか載せられませんが、公務の合間や週末に地元イベントにも顔を出しています。地域の皆様から沢山のエネルギーやアイデアを頂戴しています。

児童虐待防止



多摩市議会の自民党会派の皆様と厚労省、文科省へ児童虐待防止に関する要望活動を行いました。児童虐待を防ぐためには自治体の役割が一層重要との提言内容を十分に理解してもらいました。写真は厚労省の藤原審議官と。

小田急多摩線延伸



小田急多摩線延伸を促進する議員連盟の皆様と赤間二郎代議士とともに、工藤彰三国土交通政務官に要望書を提出しました。工藤政務官からは、国交省としても支援を惜しまないとの発言がありました。

学生との交流



桜美林大学の小澤ゼミとサレジオ高専でそれぞれ特別講義をさせていただきました。学生の真剣な眼差しを受けて、授業も熱がこもります。

芸術鑑賞



児童作品展にて。町田市・多摩市の市民文化の力を肌で感じます。

秋のお祭り



社会福祉法人ウィズ町田、赤い屋根まつりにて腕相撲大会に飛び入り参加。障がい者福祉の実状も地元回りで学びます。

秋の運動会



秋の運動会、聖火リレーで保育園の園長先生と対決しました。子ども達の笑顔に触れ、自然と顔が和らぎました。

UR(都市再生機構)団地も大きく変わります

小倉まさのぶは自民党公団住宅居住者を守る議員連盟に所属し、初当選以来ほぼ毎年、団地に関する提言を行い、UR団地の居住環境の改善に努めてまいりました。昨年も同議連の提言を菅官房長官・石井国交大臣に提出し、下記の通り国とURの新たな政策を実現いたしました。

2015年12月



石井国交大臣へ提言を手交

2017年12月

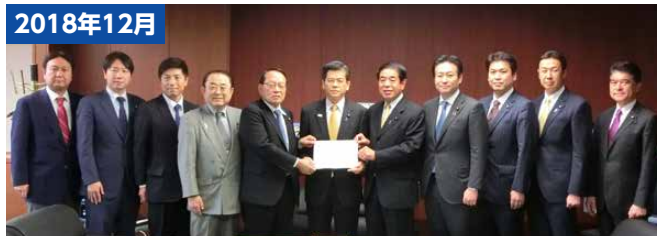


2018年12月



菅官房長官へ提言を手交

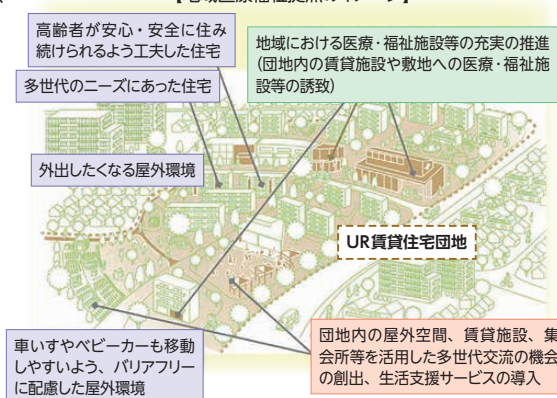
2018年12月



高齢者も安心して暮らし続けられる団地へ

- エレベーターの設置やバリアフリー改修等に係る補助率を1/5⇒1/3に引き上げます。(特定施策賃貸住宅ストック総合改善等事業のうち、一定要件を満たす場合)
- 高齢者向け優良賃貸住宅では、20年間の家賃減額期限を迎えても、退去するまで家賃減額補助を延長します。(町田市・多摩市内だけで、現在約1,700戸)
- 充実した医療・福祉施設、生活支援サービスやコミュニティ機能を強化するため、地域の医療福祉拠点化を推進する団地を2025年度までに150団地程度⇒2033年度までに250団地程度に拡大します。現在、町田市では鶴川団地、多摩市では多摩ニュータウン諏訪・永山・貝取・豊ヶ丘団地が地域医療福祉拠点に指定されていますが、これを市内の他団地にも広げるよう取り組みます。

【地域医療福祉拠点のイメージ】



新しい技術を団地再生に活かします

当時最先端の街として建設された多摩ニュータウンの再生に際してもまた、現在の最新鋭の技術を用いる必要があります。2月から多摩市の諏訪・永山団地で開始される自動運転の実証調査など、新しい技術を活用し魅力的な団地にします。

経年劣化した畳・ふすまなど 居住者全額負担からUR8割負担に

賃借人負担の修繕負担区分を81項目から11項目に削減します。2019年度上期より施工体制が整い次第、築年数の経過した住戸より順次実施します。

多世代がふれあう活力ある団地に

子育て世帯と高齢者世帯が支えあって住めるよう、近居割ワイドの対象エリアを拡大します。また、子育て施設やコミュニティセンターに加えて都心への長時間通勤を減らして働けるようコワーキングスペース等も増やしていきます。

Profile 町田市・多摩市選出(東京都第23選挙区) 自民党衆議院議員 小倉まさのぶ

1981年 5月 30日 多摩市生まれ、町田市在住
2004年 3月 東京大学法学部 卒業
4月 日本銀行 入行
2009年 7月 オックスフォード大学院 修了
2012年 12月 第46回衆議院議員総選挙にて初当選
2014年 12月 第47回衆議院議員総選挙にて2期目当選
2017年 8月 総務大臣政務官 就任
10月 第48回衆議院議員総選挙にて3期目当選
11月 第4次安倍内閣にて総務大臣政務官に再任

主な役職

国会

- 総務委員会 理事
- 消費者問題に関する特別委員会 委員
- 災害対策特別委員会 委員

自民党

- 法務自治関係団体 委員長
- 広報本部広報戦略局 次長
- 青年局 次長
- 国土交通部会 副会長
- 経済成長戦略本部 事務局次長

- 行政改革推進本部 事務局次長
- 地方創生実行統合本部 事務局次代理
- 金融調査会 事務局次長
- 消費者問題調査会 事務局次長
- 国際協力調査会 事務局次長
- 中古住宅市場活性化委員会 副委員長
- 宇宙・海洋開発特別委員会 幹事
- 国会対策委員会 オブザーバー

議員連盟

- モノレールの普及を応援する議員連盟 事務局次長
- 指定自動車教習所を応援する議員連盟 事務局次長
- 若者政策推進議員連盟 副会長 ほか

その他

- 一般社団法人日本モノレール協会 顧問
- 三多摩サッカー連盟 副会長
- 町田リトルシニア後援会長
- 多摩市少年野球連盟 顧問
- 茶道裏千家淡交会東京第八南支部 顧問 ほか

【地元事務所】 町田事務所 〒194-0013 東京都町田市原町田5-4-7 からかあさ101号 TEL: 042(710)1192 FAX: 042(710)1193
多摩事務所 〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-9-22 池田ビル103号 TEL: 042(400)1751 FAX: 042(400)1752

【E-mail】 info.oguramasanobu@gmail.com 【HP】 http://www.ogura-m.jp/